

I 事業報告

第 2 期となる平成 23 年度は、助成事業を本格的に開始した記念すべき事業年度となった。

役員・選考委員・外部団体の協力を得て第 1 期から助成事業の準備を進め、今期に「平成 23 年度草の根育成助成」として医療・福祉分野、スポーツ分野において助成事業を本格的にスタートさせた。

医療・福祉分野は前期に選定を行った 7 事業のサポートを行い、実施企業の都合により 1 事業は辞退となったが、6 事業に対し 1,520,000 円の助成金を交付した。また、「平成 24 年度草の根育成助成」の選考を行い、14 事業を選定した。

スポーツ分野は前期に選定を行った 6 事業のサポートを行い、実施団体の都合や他団体から資金援助を獲得したことなどにより 2 事業が辞退となったが、4 事業に対し 460,000 円の助成金を交付した。また、「平成 24 年度草の根育成助成」の選考を行い、6 事業を選定した。

日本死の臨床研究会事務局受託事業では、滞りなく受託業務を請け負った。

以上の通り、子どもから高齢者まで 市民一人ひとりが自立（自律）し、それら各人が互いに尊重し、助け合い、共に生き生きと暮らす社会を築き、より心豊かな市民生活が実現するために事業を行い、概ね当初目標を達成できたと言える。

【詳細報告～助成事業（医療・福祉分野）】

本事業は、医療・福祉分野において社会問題解決の為に活動している団体が行う事業に助成し、地域社会福祉の増強に寄与することを目的として実施した。また、併せて、地域に潜在する諸問題を洗い出すこと、地域で活動している諸団体と交流することを目標とした。

結果、「平成 23 年度草の根育成助成」として第 1 期に選定した 7 事業の視察、助成金振込、その他それらに付随する業務を行い、地域社会福祉の増強に寄与することが出来た。

併せて、地域の中での障がい者へのサポート不足を垣間見ることが出来た。

「平成 24 年度草の根育成助成」の内定事業として 18 事業の中から 14 事業を選定した。

「平成 23 年度 草の根育成助成（医療・福祉分野）」

募集事業 : 地域に潜在する医療・看護・福祉領域特有の問題を解決していくために取り組んでいるプログラムや、他団体のモデルケースに成長していくことが期待される調査研究事業
(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日行われる事業)

(島しょ部を除く東京都で行われる事業)

募集期間 : 平成 23 年 7 月 1 日 (金) ～7 月 31 日 (日)

募集対象者 : 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体 (任意団体を含む)

助成限度額： 50 万円

選考基準：

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数：

(単位 円)

| | 申請件数 | 申請額 | 内定件数 | 内定額 | 交付額 |
|----------|------|-----------|------|-----------|-----------|
| 平成 23 年度 | 19 | 6,744,000 | 7 | 1,980,000 | 1,520,000 |

助成先訪問： 今後の助成金事業の参考とするため、下記団体を訪問した。

NPO 法人 障害者のライフスタイルの向上と親を支援する会

NPO 法人 立川マック

若年認知症ねりまの会 MARINE

NPO 法人 サポートハウスじょむ

キズキ

NPO 法人 コミュニティケアリンク東京

サポートクラブあすなろ

以上 7 団体

助成事業視察： 下記団体へ事業視察を行った。

NPO 法人 障害者のライフスタイルの向上と親を支援する会

若年認知症ねりまの会 MARINE

NPO 法人 サポートハウスじょむ

NPO 法人 コミュニティケアリンク東京

サポートクラブあすなろ

以上 5 団体

「平成 24 年度 草の根育成助成（医療・福祉分野）」

募集事業 : 東京都内の地域でおこっている医療・看護・介護・福祉領域固有の、あるいは複数の領域に重なる問題を解決するために取り組んでいるプログラム事業。また、他団体などのモデルケースに成長していくことが期待されるこれらの分野に関わる調査研究事業

(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日行われる事業)

(島しょ部を除く東京都で行われる事業)

募集期間 : 平成 24 年 5 月 21 日 (月) ～6 月 20 日 (水)

募集対象者 : 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体 (任意団体を含む)

助成限度額 : 50 万円

選考基準 :

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数 :

(単位 円)

| | 申請件数 | 申請額 | 内定件数 | 内定額 |
|----------|------|-----------|------|-----------|
| 平成 24 年度 | 18 | 3,564,000 | 14 | 2,154,000 |

【詳細報告～助成事業（スポーツ分野）】

本事業は、スポーツ分野において社会問題解決の為に活動している団体が行う事業に助成し、地域社会福祉の増強に寄与することを目的として実施した。また、併せて、地域に潜在する諸問題を洗い出すこと、地域で活動している諸団体と交流することを目標とした。

結果、「平成 23 年度草の根育成助成」として第 1 期に選定した 6 事業の視察、助成金振込、その他それらに付随する業務を行い、地域社会福祉の増強に寄与することが出来た。

併せて、地域社会を活性化させるツールとしてのスポーツの有効性を再確認することが出来たと共に、障がい者スポーツ・マイナースポーツへのサポート不足を垣間見ることが出来た。

「平成 24 年度草の根育成助成」の内定事業として 9 事業の中から 6 事業を選定した。

「平成 23 年度 草の根育成助成（スポーツ分野）」

募集事業 : 地域に潜在する運動・スポーツ活動における問題を解決していくために取り組んでいるプログラムや、他団体のモデルケースに成長していくことが期待される調査研究事業
(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日行われる事業)
(島しょ部を除く東京都で行われる事業)

募集期間 : 平成 23 年 7 月 1 日 (金) ～7 月 31 日 (日)

募集対象者 : 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体 (任意団体を含む)

助成限度額 : 50 万円

選考基準 :

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数 :

(単位 円)

| | 申請件数 | 申請額 | 内定件数 | 内定額 | 交付額 |
|----------|------|-----------|------|---------|---------|
| 平成 23 年度 | 14 | 4,888,000 | 6 | 990,000 | 460,000 |

助成先訪問 : 今後の助成金事業の参考とするため、下記団体を訪問した。

武蔵野ドッジビークラブ

連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会

八王子セブンクラブ

五日市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
寺子屋 こしだき助産院
一般社団法人 アスリートソサエティ

以上 6 団体

助成事業視察： 下記団体へ事業視察を行った。

武蔵野ドッジビークラブ
連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会
八王子セブンクラブ
五日市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会

以上 4 団体

「平成 24 年度 草の根育成助成（医療・福祉分野）」

募集事業： 東京都内の地域でおこっている医療・看護・介護・福祉領域固有の、あるいは複数の領域に重なる問題を解決するために取組んでいるプログラム事業。また、他団体などのモデルケースに成長していくことが期待されるこれらの分野に関わる調査研究事業
(平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日行われる事業)
(島しょ部を除く東京都で行われる事業)

募集期間： 平成 24 年 5 月 21 日（月）～6 月 20 日（水）

募集対象者： 島しょ部を除く東京都に拠点を有する非営利活動団体（任意団体を含む）

助成限度額： 50 万円

選考基準：

- ①地域の問題を適切に捉えているか
- ②問題解決のために適切な事業計画となっているか
- ③継続的に事業を行うための資金計画となっているか
- ④本事業を進める団体として適切か
- ⑤他の地域や団体への波及が考えられるか

申請及び採択件数：

(単位 円)

| | 申請件数 | 申請額 | 内定件数 | 内定額 |
|----------|------|-----------|------|---------|
| 平成 24 年度 | 9 | 1,657,000 | 5 | 541,000 |

【詳細報告～日本死の臨床研究会事務局事業】

本事業は、日本死の臨床研究会の事務局業務を受託して行ったものである。
詳細は下記の通り。

- 2011.11 : 世話人だよりNo.75 作成・発送
- 12 : ニュースレターNo.64 原稿依頼・発送準備
- 2012. 1. : 2011 年度第 2 回常任世話人会資料作成・発送
 - 1.20 : ニュースレターNo.64 発行・発送ならびにHP更新
 - 1.28 : 2011 年度第 2 回常任世話人会開催
 - . 2 : 常任世話人会議事録作成・発送
 - 3 : 年次大会案内原稿チェック
 - : ニュースレターNo.65 原稿依頼・年会費請求書発送準備
 - 31 : ニュースレターNo.65 発行・発送ならびにHP更新
- 4. : 入会手続きならびに年会費入金処理
- 5. : 入会手続きならびに年会費入金処理
 - 25 : 2011 年度会計監
 - : 自然退会者処理
- 6. : 世話人だよりNo.76 発行・発送
 - : 世話人推薦受付・意志確認書発送
 - : 研究助成募集
- 20 : 会誌「死の臨床」59 号（記録号）発刊・発送
 - : 支部活動前年度報告書収集・支部活動援助金受付
- 7. : 研究助成審査
 - : ニュースレターNo.66 発行準備
 - : 年次大会プログラム確認・委員会日時確認
- 8. : 会誌「死の臨床」60 号（抄録集）発刊・発送準備
 - : 2012 年度第 1 回常任世話人会資料作成・発送
- 8.25 : 2012 年度第 1 回常任世話人会開催
- 9. : ニュースレターNo.66 発行・発送（会費再請求同封）ならびにHP更新
 - 28 : 会誌「死の臨床」60 号発刊・発送

II 事務報告

1. 基本財産

2012 年 9 月 30 日現在における当財団の基本財産は次の通りである。

| | |
|--------|-------|
| 設立時受入額 | 3 百万円 |
| 合 計 | 3 百万円 |

2. 役員

| | |
|------|--------|
| 代表理事 | 長谷 公人 |
| 理 事 | 加藤 智弘 |
| 理 事 | 新津 ふみ子 |
| 監 事 | 青木 耕一郎 |

平成 24 年 9 月 30 日現在 計 4 名

3. 評議員

| | |
|-------|-------------------|
| 三枝 好幸 | 聖ヶ丘病院ホスピス長 |
| 長谷 方人 | 有限会社暁記念交流基金 代表取締役 |
| 早川 武彦 | 一橋大学名誉教授 |

平成 24 年 9 月 30 日現在 計 3 名

4. 理事会

平成 23 年度における理事会は次のとおり 2 回実施した。

第 2 回理事会

- ・日時：平成 23 年 11 月 6 日（日） 10 時
- ・場所：ケアタウン小平 2 階タヴェルナ
- ・内容：第 1 期事業報告及び決算報告について

書面理事会

- ・日時：平成 24 年 9 月 25 日（火）
- ・場所：一般財団法人草の根事業育成財団
- ・内容：第 3 期収支予算及び事業計画について

5. 評議員会

平成 23 年度における評議員会は次のとおり 2 回実施した。

第 2 回評議員会

- ・日時：平成 23 年 11 月 6 日（日） 11 時
- ・場所：ケアタウン小平 2 階タヴェルナ
- ・内容：第 1 期事業報告及び決算報告

書面評議員会

- ・日時：平成 24 年 9 月 25 日（火）
- ・場所：一般財団法人草の根事業育成財団
- ・内容：第 3 期収支予算及び事業計画について

6. 監査の実施

監事監査

- ・日時：平成 23 年 10 月 4 日（火） 11 時～12 時
- ・場所：一般財団法人草の根事業育成財団 事務室
- ・監事：青木耕一郎
- ・内容：第 1 期事業報告、決算（財務諸表）、収支計算、帳簿、伝票等の監査

7. 登記事項

特になし

第 1 回草の根育成助成
採択事業一覧

医療・福祉分野

| | 法人格 | 団体名 | 事業名 | 地域の課題 | 市町村 |
|---|-------|------------------------|----------------------------------|------------------------------------|------|
| 1 | NPO法人 | 障害者のライフスタイルの向上と親を支援する会 | 障害者のライフスタイルの向上と親を支援する事業 | 障害者の地域での孤立、親の高齢化と休日の過ごし方 | 町田市 |
| 2 | NPO法人 | 立川マック | 依存症問題を持つ精神障害者の地域生活安定のための訪問生活訓練等 | 依存症問題を持つ人々の地域生活が安定しない | 多摩地区 |
| 3 | | 若年認知症ねりまの会 MARINE | 若年認知症者とソーシャルサポートをつなぐシステム構築に関する事業 | 若年認知症者が介護保険サービスを利用するまでの社会的支援不足 | 練馬区 |
| 4 | NPO法人 | サポートハウスじよむ | ケアに携わる人へのケアワークショップ | 支援に携わる人が疲弊している | 渋谷区 |
| 5 | NPO法人 | キズキ | ドロップアウトからの学び直し白書作成 | 不登校・中退・ニートからの社会復帰の難しさ | 豊島区 |
| 6 | NPO法人 | コミュニティケアリンク東京 | ケアタウン小平応援フェスタ | 血縁、地縁だけでは地域在宅ケアおよび地域社会づくりが難しくなっている | 小平市 |
| 7 | NPO法人 | サポートクラブあすなる | 宿泊体験「ふきのとう」 | 障害児者の自立訓練の場が少ない | 小平市 |

スポーツ分野

| | 法人格 | 団体名 | 事業名 | 地域の課題 | 市町村 |
|---|--------|------------------------|---|----------------------|----------|
| 1 | | 武蔵野ドッチビークラブ | 武蔵野市ドッチビー普及事業 | 子どもの基礎体力低下 | 武蔵野市 |
| 2 | | 連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会 | 地域大運動会の立案企画と実施 | 住民相互の交流希薄と高齢化や独居率の増加 | 多摩市 |
| 3 | | 八王子セブンクラブ | 精神障害者がスポーツ活動を行い、仲間づくりや体力づくりができる場を提供する事業 | 精神障害者に対する偏見 | 八王子市 |
| 4 | | 五日市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 | 五日市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会プレ事業 | 気軽にスポーツを楽しむ環境が少ない | あきる野市 |
| 5 | | 寺子屋 こしだき助産院 | マタニティーヨーガ教室 | 妊産褥婦の運動の機会がない | 八王子市、日野市 |
| 6 | 一般社団法人 | アスリートソサエティ | 総合型地域スポーツクラブを活用したアスリートと地域を結ぶための勉強会 | 講師・指導員不足 | 渋谷区 |